

平成 2 6 年度志摩市予算編成方針

平成 2 6 年度の当初予算編成にあたっては、「志摩市予算編成及び執行に関する規則」及び下記の事項に留意のうえ、予算要求書等提出書類を作成し期日までに提出してください。

(1) 本市をとりまく状況

平成 2 5 年度の我が国経済は、国の経済対策により、景気は回復基調にあるとされています。しかしながら、株価の急激な増減や、欧州経済などの不安定要素も存在し、実体経済への反映では大きく改善はしておらず、依然として不透明な状況が今後も続くものと思われます。

内閣府が公表した平成 2 5 年 8 月の月例経済報告によると、「景気は、着実に持ち直しており、自律的回復に向けた動きもみられる。」とされています。また、先行きについては「輸出が持ち直し、各種政策の効果が発現するなかで、企業収益の改善が家計所得や投資の増加につながり、景気回復へ向かうことが期待される。ただし、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっている。」としており、今後の日本経済は不透明な状況が続くものと思われます。

本市においては、将来の見通しを把握することにより、第 2 次財政健全化アクションプログラム及びそれを反映させた財政計画を策定するため、平成 2 5 年 6 月に財政収支見通しを策定しました。その見通しによれば、「近い将来財源不足が生じる」「累積赤字が年々増加する」「財政が硬直化する」「将来世代の負担が増加する」と非常に厳しい財政状況になるとの見通しが出ています。この状況を回避するためには、市民・議会・行政が一体となった議論を交わし、持続可能な行財政運営体制を構築していくことが重要です。

そのため、今年度から「第二次財政健全化アクションプログラム策定」と「その他行政改革全般」に関して行政改革推進委員会へ諮問を行い、その委員会から取組可能な改革から一刻も早く取組む必要があると中間答申を受けています。

このような中、平成 2 6 年度の歳入については、市税等の増額は見込めず、歳出については合併特例債等を活用した施設整備等に伴う公債費や志摩広域消防組合本部整備事業に伴う負担金など多額の歳出が見込まれるため、引き続き厳しい財政状況にあること、また、平成 2 7 年度からは合併算定替えによる交付税の増加額が段階的に縮小することなど今年度も将来を見据えた予算編成に臨みます。

(2) 予算編成の基本方針

平成 2 6 年度予算の編成にあたっては、こうした財政状況を踏まえ、以下の基本方針に基づいて編成することとします。

1) 基本理念

志摩市のまちづくりは、「住んでよし、訪れてよしの志摩市」を基本理念として、地域が抱える様々な行政課題や問題点に対応するため、総合計画に基づき、次の 6 つ

の将来像を基本目標として施策を推進していきます。

環境の志.....自然とともに生きる
生活・安全の志.....安全を保ち、快適に暮らす
地域経済の志.....まちを潤す
健康・福祉の志.....人と命を大切にする
教育・文化の志.....人を育て、ふるさとを誇る
まちづくりの志.....未来を拓く

2) 財政調整基金の取り崩しをしない予算編成

平成25年6月に策定した財政収支見通しによれば、「近い将来財源不足が生じる」「累積赤字が年々増加する」「財政が硬直化する」「将来世代の負担が増加する」と非常に厳しい財政状況になるとの見通しが出ているため、昨年度に引き続き財政調整基金の取崩しをしない方針で予算編成に臨みます。

3) 行政改革推進委員会からの中間答申に基づく財政健全化の推進

行政改革推進委員会から取組可能な改革から一刻も早く取組む必要があると中間答申を受けているため、その中間答申の内容を熟慮し、平成26年度予算から取り組んでいきます。

4) 重点施策の推進

東日本大震災を教訓に、市民の安全を最優先に防災対策に取り組むため、津波避難対策をはじめとする防災対象事業を重点施策として位置づけます。

総合計画後期基本計画において、「稼げる（産業里海）」、「学べる（教育里海）」、「遊べる（観光里海）」をキーワードとした「新しい里海の創生」を重点プロジェクトとして位置づけたこと、また、平成25年8月には市民みんなで「新しい里海のまち・志摩」づくりに取り組む意思を表すとともに、世界中の人々に私たちの地域に対する誇りと想いを伝えることを目的に「新しい里海のまち宣言」を行ったことから、里海推進事業を重点施策として位置づけます。

5) 事業見直しを含めた経費の削減

市町村合併に伴う経過措置（合併算定替）により、普通交付税の交付額は平成26年度までは合併前の旧5町分全額が交付されます。しかし、その後段階的に縮減され、平成32年度からは本来の志摩市分のみの交付（一本算定）となることから、普通交付税の交付額は大きく削減され、大きな財源不足に陥ります。

このことを踏まえ、事業の見直しを含めた経費の削減に取り組んでいきます。

6) 志摩市誕生10周年記念事業の実施

平成26年10月1日に旧5町が合併して10周年を迎えます。この節目となる機会に、将来に向かって夢や希望あふれる志摩市の飛躍につながるよう志摩市誕生10周年記念事業に取り組んでいきます。